

1. 件 名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構との審査の進め方に関する面談

2. 日 時：令和2年7月7日（火）8:30～9:20

3. 場 所：原子力規制庁10階南会議室（テレビ会議）

4. 出席者：

原子力規制庁

原子力規制部 研究炉等審査部門

小野安全規制管理官（研究炉等審査担当）、森光係長

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

安全・核セキュリティ統括部

奥田部長 他5名

5. 要 旨：

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「機構」という。）から、機構の有する施設に係る審査の進め方について相談があった。

機構から、6. の配付資料に沿って、次の説明があった。

①STACY設工認（その3）については、運転再開時期への影響があること、審査終了していることから、可能な限り速やかに認可いただきたい。

②6日に行われた3条改正に係る審査会合に関して、同会合で説明すべき内容等について規制庁側と認識が異なっていたため、認識の共有を図りたい。

これに対し、規制庁からは次のとおり回答した。

・①については、機構の希望どおりのスケジュールは難しい。施設ごとの優先順位だけでなく、個々の審査案件の優先順位を機構全体で検討し、早期に許認可を希望するものについては補正申請等を速やかに行うこと。

・②については、審査担当間の意思疎通が不十分だったことにも原因があり、申し訳ない。審査担当間でよく調整させる。

これらについて、機構からは了解した旨回答があった。

6. 事業者配布資料：

・7/6（月）保安規定変更認可申請に係る審査会合での規制庁コメントに対する JAEA の考え方

・STACY設工認（その3）の優先的審査のお願い

・許認可審査対応スケジュール